



山や川からも栄養が流れ込む

理由2 海岸の形がスゴイんです



ウニやアワビも多い隆起海岸

岩手県宮古市付近から北側は、断崖が連なる隆起海岸。入り組んだ岩礁や断崖を侵食して穴が開いた海食洞がある場所では沿岸漁業が営まれています。岩礁を好むウニやアワビなどが多く生息。

養殖に適したリアス式海岸

一方、岩手県宮古市付近から南側は、岬と入り江が入り組んだ複雑な地形のリアス海岸。外海にくらべて波が低く、ある程度の水深もあるため、天然の良港として沿岸漁業の基地となったり、各種の養殖も盛んに営まれています。

三陸の海とは

北は青森県八戸市の鮫角(さめかど)から南は宮城県石巻市の万石浦(まんごくら)までを一般に『三陸海岸』と言い、三陸の海とは三陸海岸の沿岸や沖合の海をさします。

宮城県石巻市、牡鹿半島の突端から望む離島『金華山(きんかさん)』

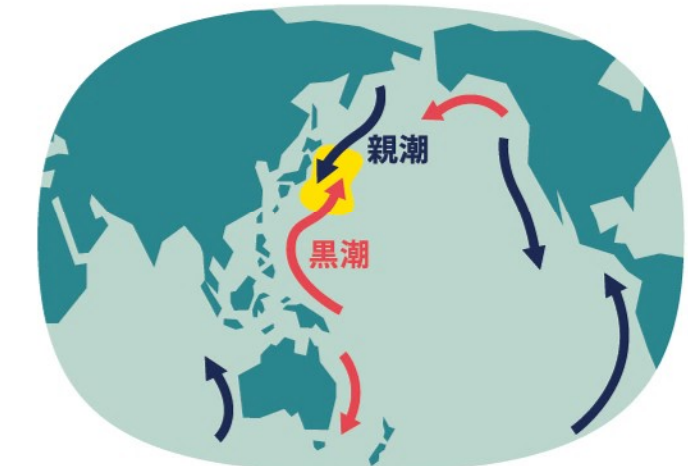


三陸の魚が旨いこれだけの理由

どこの海の魚でも同じだと思いませんか?もちろん、自然の恵みはそれだけで素晴らしいもの。しかし野菜の味が周りの環境や土壌によって変わるように海の畑(漁場)にも美味しい魚が育つ条件があるのです。三陸の海には、そのすべてが揃っているとんでもない過言ではありません!



理由1 海流がスゴイんです



親潮と黒潮がぶつかる世界でも珍しい場所

三陸沖は、北の海から流れてくる栄養分に富んだ冷たい海流・親潮が、南から流れてくる暖かい黒潮とぶつかる珍しい場所。

海流がすごいとみんなが集まってきます

そこで何が起るかというと、親潮の豊富な栄養が、暖流・黒潮に温められて植物プランクトンが爆発的に増加!それを餌とする動物プランクトンも増えてきます。その動物プランクトンを狙って小魚が集まり、その小魚を餌とする大型魚(ブリやマグロなど)、さらにその大型魚を餌とする大型肉食動物(サメやイルカなど)が集まってくるんです。それはもうめくるめく、お魚カーニバル!

だから、世界三大漁場のひとつに選ばれています

こうして、三陸沖の海は世界的にも希少な漁場を形成。特に『金華山(きんかさん)沖』はノルウェー沖、カナダ・ニューファンドランド島のグランドバンクと並び、世界三大漁場とされています。

